

# 明野通信

(題字：古川明德校長 筆)

大分工業高等専門学校広報

第 125 号

2018年2月15日

大分市大字牧1666

TEL(097) 552-6075

http://www.oita-ct.ac.jp/

## アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2017九州沖縄地区大会(優勝)

(2017年10月29日(日) 会場:大牟田市民体育館<福岡県大牟田市>)

大分Aチーム  
決勝戦 優勝の瞬間(風船残り1個)

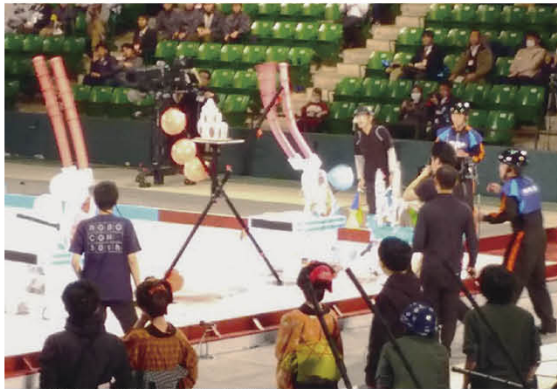


大会終了後の集合写真

## アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2017全国大会(ロボコン大賞受賞)

(2017年12月3日(日) 会場:有明コロシアム<東京都>)

全国大会1回戦の様子



大会終了後の集合写真

※記事の詳細は15頁参照

### 目 次

巻頭言	2	都市・環境工学科通信	13
主事室便り	3	専攻科通信	14
卒業おめでとう	4	各種報告	15
専攻科修了おめでとう	8	学生会便り	16
退職者及び新任職員挨拶	9	寮生会便り	18
機械工学科通信	10	留学生通信	19
電気電子工学科通信	11	卒業生の進路	20
情報工学科通信	12		

## 卷頭言 大分高専生に贈る言葉 校長 古川明德



平成30年が開けて早2か月、皆様におかれましては爽やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私が執筆を担当させて頂きました、この巻頭言では、高専の様子を、高専がどうあれば…といういろいろ悩み考えて参りました。いよいよ私の担当も終えることとなりますので、ここは大分高専生に贈る言葉を書かせて頂きます。

まず皆さんに問いかけます。「自分を見つめること」とは何でしょうか。まず第一は、「夢・希望そして目標を持つこと」です。本科5年生そして専攻科2年生は、今、卒業そして修了に当たって就職、進学と当面の目標を叶えつつありますが、それは最終目標への単なる通過点でしかありません。どうぞ今こそ、もう一度、自分を見つめ直して「大いなる夢・目標」を構築して下さい。「夢」を持ち語る人は、周りの人を引き付ける力を持っています。しかし、単に「夢」を持っただけでは達成できません。そこで、「自分を見つめること」の第二は、夢の実現に向かって「しっかりとして行動計画を立てること」です。皆さんはまだ20歳前後です。人生100年とすれば後80年も残っています。どうぞ、将来を見据えて行動計画を立ててみて下さい。そして「自分を見つめる」日々のこととして、私から一つお願い。毎朝、顔を洗うときで結構ですから、しっかりと鏡に映った自分の目を見て、まず「頑張っている自分に褒める言葉を」、そして頑張りが足りなかったらちょっと反省して、「今日

は、これをするぞ」と語り掛けて「にこっ」と笑顔をして下さい。たった10秒でもいいですから鏡に映った「自分を見つめる」ことをお願いしたいと思います。

比叡山延暦寺を開いたお坊さん、最澄は、「一燈照隅万燈照国」という言葉を述べています。すなわち、一つの灯りが隅を照らす、つまり、自分自身が置かれたその場所で精一杯努力し明るく光り輝く人が何物にも代え難い貴いもの、それが「一燈照隅」です。そして、万の灯りが国を照らすとは、一燈照隅の人が沢山集まって一人一人が輝けば、やがて社会全体が明るく照らされて素晴らしい国になっていくという意味で、それが「万燈照国」です。そこに、私が冒頭で述べました「自分を見つめて、他人を思いやること」の「他人を思いやること」の大切さがあります。これからの世の中、解決すべき問題が山積し、「誰かが解決してくれる」ではなく、個人個人の問題として解決していかねばなりません。「自分のためにこれをやる」では「まあいいか」という甘えがでます。したがって、先程お願いしました夢や目標も「自分のため」ではなく「愛する人のために」成し遂げるものであって欲しいと願っています。それにより「なお一層の頑張り」をもって、皆さんが、より大きく成長してくれるものと確信致しております。

次に皆さんに問いかけたのは、これまで何回、涙を流すほどの感動を経験されましたでしょうか。本を読んで感動し、映画を見て涙し、そして人の話を聴いて心を動かされる、そのような場面を数多く体験した方こそ、心豊かな人間として大きく成長されていると思います。これからも、どうぞ、多くの感動を経験して下さい。ただ、待っているだけでは感動の場面はやってきません。大いに動き回って下さい。涙するような感動体験が、皆さんの心を動かし、次の人生展開へと大きく羽ばたかせ、しいては、周囲の方々を感動させる人物に成長してく

れることと信じています。感激を得ること、そして感激を得るための努力、それは素晴らしいことであり、次への活力になります。人間としての成長は、やはり感動から生まれるものと考えております。いかに数多くの感動を経験したか、感動を得る努力をしてみてください。そして、感動を数多く経験した人こそ、人々への真の感謝の気持ちを持ってくれるものと信じております。

最後に、皆さんはこの大分高専での5年間、7年間、体系化されたカリキュラムのもと、しっかりと専門的基礎知識を習得されました。高専という限られた世界ではありますが、大分高専での経験を活かして基本に立ち戻り価値を高めるべく、尚一層の知識と教養を身に付けて下さい。しかし、知識と教養をただ身に付けるだけでは、評論家と一緒に何も生み出しません。知識・教養を頭の中で噛み砕いて知恵そしてアイデアに変えて頂かなくてはなりません。知恵はどうやって生まれるのでしょうか。それは、知識を融合させて使えるものに変化させることであります。そのためには常に考えること、そして体を動かすことです。健康な体と健康な思考こそ知恵を生み出す第一歩と考えます。

今春ご卒業または修了される皆さん、ご卒業そして修了、本当におめでとうござります。

あらためて申し上げます。「今、夢を持っていますか。」と尋ねられて「ハイ」と応えられるようして下さい。これからの人生、山あり谷ありで、失敗も経験されるでしょうが、いかにすばやく立ち直るかが次に繋がる第一歩です。どうぞ逞しい人間になって下さい。皆さんの尚一層の成長とご活躍を期待しています。そして大分高専は「愛の精神」を大切に守っていきましょう。そして教職員の皆様の未来に栄光あれ!!

## 主 事 室 便 り



### 卒業・修了おめでとう！

教務主事 高橋 徹

卒業生のみなさん、専攻科修了生のみなさん、大分高専卒業、専攻科修了、まことにおめでとうございます。教職員一同、皆様の卒業・修了を心より祝福いたします。保護者の皆様、おめでとうございます。心からのお祝いとお慶びを申し上げます。

高専での勉強は、高校・大学の接続に比べてハードではありますが、そのぶん、その成果がみなさんの土台としてしっかりと身につけていると思います。卒業・修了を達成した喜びもひとしおではないでしょうか。

みなさんの船出する社会では、技術革新がめざましく、国際情勢や温暖化などとりまく環境は平坦ではありません。そんななかでも、技術が社会を支え続け人々の幸福と社会の安定になくはならないものであることは、これからも変わらないことでしょう。機械、電気電子、情報、都市・環境の技術はそれぞれがこの社会を支える基盤でもあります。是非、誇りと自信を持って船出をしていただきたいと思います。前を向いて未来への希望と信念を持ち、学びつづけていただきたいと思います。

技術に携わる者の喜びには、社会の安全・安心を支える喜び、新しいものや価値をつくりだす喜び、発見の喜びなど様々にあります。是非、皆さん自身のエンジンを発見してください。

高専生活で得た様々の経験、友や書物が皆さんの芯を構築し、人間としての力になっていることと思います。大分高専出身者として、技術だけではなく、愛と教養に裏打ちされた人になっていただきたいと願っています。

みなさんのご活躍とお幸せを心よりお祈りしております。おめでとう！！



### 希望に満ちた明日に向かって

学生主事 佐藤 達郎

本科卒業・専攻科修了を迎えられた皆さん、まことにおめでとうございます。5年ないし7年の学業を修められ一回りも二回りも大きく成長できた自分を実感できていることでしょうか。これまで陰に陽向に皆さんを支えてくださった保護者の方々も肩の荷を下ろせた安堵感と同時に一抹の寂しさも感じておられるのではとご推察申し上げます。長いようでアツという間の大分高専時代だったと思います。

これから皆さんは、進学・編入学する人も含めてエンジニアとして日本を始め世界の未来を支えていくこととなります。大分高専で学んだことは、そのための基礎のまた基礎に過ぎないことを自覚してください。今後、より多くのことを学ぶことによって一人前になっていきます。一昨年4月の熊本・大分地震、昨年7月・9月の九州北部豪雨。自然の前では人間はあまりにも無力であることを認めたくえで、謙虚さを忘れずエンジニアとしての道を邁進して欲しいと思います。

この歳になって思うことですが、若い時分あれをやっておけばよかった、これもやっておけばよかったと振り返ることがあります。「将来後悔しないためにも今精一杯頑張ろう」などと若い時は考えないかも知れませんが、これから人生の最も充実した時期を迎える皆さんには、思う存分自分を磨き、眩しいくらい輝いて欲しいと思います。

来年度、大分高専同窓会「明愛会」は50周年を迎えます。半世紀の歴史です。大分高専同窓生の自覚と誇りをもって次のステージへと飛び立ってください。山あり谷あり嵐あり、時には晴天の日ありのこれから、皆さんのご活躍とご健勝をお祈りいたします。



### 卒業、修了おめでとう

寮務主事 薬師寺 輝敏

明野寮寮生26名を含む卒業生・修了生の皆さんに心よりお祝い申し上げます。皆さん良い就職先・進学先を見つけ保護者の方も喜んでおられることと思います。4月から親元、または寮を離れ、社会人・大学生として一人暮らしになる大部分の学生は、これまであまり気にすることなく受けていたサービスが如何に恵まれていたかをすぐに実感することでしょう。就職・進学先で信頼できる上司や友人を作ることは基より、早く一人前の社会人となって新しいパートナーを見つけることをお勧めします。学生時代の友人、文字どおり同じ釜の飯を食べた寮生の友人は一生の宝物ですが、家族ではありません。将来良い仕事をするためには苦楽を共にするパートナーの存在は大きいと考えています。皆さん20歳を超えていますから、学生の身分であっても、後で後悔するようであれば遠慮することはありません。ただし、自分も相手の良いパートナーとなる人材である努力をすることは大切です。

卒業・修了にあたり、寮生は15歳の子供の希望を叶えるために、とても寂しい思いをしながら、家から明野寮に送り出した保護者の方に支えてくれた5年間、7年間のお礼を言いましょ。毎日の食事を準備してくれた、そして体調を気遣ってくれた食堂のおばちゃん、優しく相談に応じてくれた寮母さん、指導員の方々、寮管理棟で色々な要求に応じてくれた事務員の方々に最後の挨拶をして旅立ってください。歴代の主事や主事補に迷惑をかけた寮生は、立派に成長してから顔を見せてください。

## 卒業おめでとう! 「スタートライン」

機械工学科  
5M担任 坂本裕紀

出合いは、君たちが2年の時からでしたね。機械製図の授業が、最初でした。ややこしくて面倒な図面を一生懸命描いていた君たちと、まさかこうして最後まで関わっていけるとは思ってもいませんでした。3年になって材料力学を教えるようになり、授業していく中で、なんだか君たちの担任になれたら面白いだろうなあと思っていたら、本当に4年の時に担任になりました。始業式の日、皆が拍手してくれたことを思い出します。インターンシップや就職試験など、君たちの人生を左右する重大な局面を共に過ごしたことは、私自身にも大きな意味を残したと思いますし、成長できたと思います。ゆえに、君たちが今こうして社会人としてのスタートラインに立てたことに対してホッと胸を撫で下ろすと同時に、一抹の寂しさも感じるばかり。共に過ごした中で、残念ながらクラスから脱落してしまった者もいました。自身の無力さを感じることもありました。皆に結婚の報告をして祝福してもらったこともあるし、つらく悲しい報告をしなければならなかったこともありました。

ですが、少なくとも私が関わった学生

の中に大きな問題を起こすような者はいませんでしたし、誰もが良い個性を持っていたと言い張れます。とはいえ、2年、3年の頃に私が抱いた印象は、「何だかおとなしいクラス」……意見を募っても誰も挙手しなかったり、クラス委員等の役員になかなか立候補がなかったり、他の先生方とも、「何だか元気が足りないねえ」と話していたことを思い出します。留年生組に関しては、いつもいつも出席状況や成績でひやひやしていました。ただただ心配だったのは、このまま大丈夫なのかと……5年生として、しっかりやっつけていけるかということ。だけれども、そんな思いは杞憂であったと、今はそう確信しています。

球技大会でも高専祭でも、そして体育祭でも、君たちはとても活躍してくれました。積極的に競技に参加し、一生懸命に後輩達を鼓舞し、誰もが声を掛け合って、終わってみれば他の学科に大差を付けての総合優勝!!!

やはり、機械科というのはこうでないといけませんね。

君たちが獲得した何枚もの表彰状は、担任の私にとっても嬉しいものですし、

誇りです。君たちの担任で本当に良かったと、そう思うばかりです。

同時に、君たちにとって、私が担任でいてどうだったでしょうか? 学業における成績だけは、どうしても向上することが出来ず、また、単位の取得についてうまくサポートしてやれなかったことが一番の反省点……それ以外では、勿論君たち一人一人に、色んな想いがあることでしょう。

もうどこでも言われていることだと思うけど、卒業がゴールではありません。何人かは、まだ専攻科生として学校に残りますが、その者らを含めても、これからがスタートラインなんです。私はそんな君たちを何とかしてスタートラインまで誘導してただけです。だからこそ、これから一生懸命に駆け出して下さい。そして、幸せになって下さい。その中で、時たま私が居たことを思い出してくれると嬉しいです。学生としてではなく、立派な社会人として私の研究室に遊びに来てくれることを楽しみにしています!

改めて……卒業おめでとう!!!



4M 始業式(ここから始まり)

# 卒業おめでとう!

電気電子工学科  
5E担任 山口 貴之

この号が出ているころには、5Eの皆さんは皆卒業を迎え、それぞれの進路に羽ばたこうとしているかと思います。高専生活はいかがだったでしょうか。進学する学生にとっても、就職する学生にとっても、この高専生活は人生のなかで大きな意味を占める期間になるかと思います。特にここでの交友関係は一生ものになるでしょう、是非卒業後もお互いに連絡を取り続け、社会に出てからも切磋琢磨しあえる関係であり続けて下さい。

進路の方では、近年の売り手市場の恩恵もあつてか、企業からの積極的な求人と、比較的早くから進路を見据えて活動していた皆さんの頑張りのもあり、周囲が羨むほどの企業から内定を貰った学生が多かった印象です。また普段から成績が優秀であったクラスの割には進学希望者が少なく、もったいないと思う反面、蓋を開けてみるとこれもまた非常に難関と言われる大学から合格を勝ち取ってくれました。皆さんのその能力を腐らせることなく、自身の目標に向かって邁進して貰えればと思います。

ただ就職にしる進学にしる、そこをゴールとして見て欲しくないという思いもあります。進学する学生もいずれは就職をし、仕事をすることになるでしょう。そこで目標を見失わず、仕事や交友関係を通じて自己実現を追及して下さい。高専で身についたことは学力だけではないはず。未知のものを吸収する力や、ハードルを乗り越える精神的なタフさ等、皆さんは短い期間ながら多くのことを経験してきたかと思います。学生時代に持っていたその気持ちを、社会人になってからも持ち続けて下さい。皆さんのこれからの活躍を祈念します。



- 池田 一貴：いまから5Eのみんなから一言ずつ頂きます！ ●石田 岬：出席番号1番になりたかった ●板井 冬星：このひとことを見ている私は卒業していますか？ ●一丸 翼真：6年間楽しかった (大分市在住 21歳 男性)
- 糸長 優磨：アーン、ダブゾイッソ!! ●上杉 遠：懲役5年明野寮最高!!! ●岡本 陸：プロポーズ失敗…涙。結婚できるかな… ●奥平 晃大：1コンティニュー
- 小野 優輝：みんな5年間本当にありがとう！受信料払ってな！ ●小幡 昭平：冗けつお祀 ●川島 佑介：5年間ありがとう。また馬力行こうや。 ●神田 敬佑：姉が結婚しました!! ●木田 遠：5年間ありがとう！ ●工藤 海人：Hello world ●工藤 詩菜：5年間最高に楽しかったです！ラブ！ ●後藤 彰太：来年から炭酸飲むー ●佐々木雄也：6年間長かった・・・ ●佐藤 恵：福岡行く人、また会おうね ●志賀 大悟：長い長い学生生活でした笑笑
- 新銅 惇朔：みなとは別れても、皆とは別れたくない。 ●高野 晃：5年間あつという間やった！おつかれさま！ ●津江 基輝：イカで単位が欲しかった。
- 津村 誠也：俺の5年間は黄金の5年間だったぜ、ゴールデンタイム。 ●中尾 優太：卒業するけど、来年もいます。 ●中岡 黎：楽しかった ●平井 祥紹：†おとしたたんいごじゅうよんたんい† ●平川 康平：ストレート脱獄。 ●戸次 純一：5年間最高でした！まじ祀！ ●三浦 佳之：専攻科行きたかった、... ●御手洗成吾：5年間で20kg太った ●宮川 鉄平：消えていった人たちに黙祷。 ●矢野 拓海：学食のごはんを1度も食べませんでした
- 山戸 孝哉：卒研がなかったら最高の5年間でした！ ●山本 雄介：みんな5年間ありがとう！楽しかった！ ●横山 樹：コーラ好きのメガネがいたと忘れないうでください



## 高専のことを忘れずに 今後も頑張ってください

情報工学科

5S担任 プロハースカ ズデネク

皆さん、ご卒業おめでとございます。高専での5年間の学生生活に終止符を打ち、4月からはいよいよ就職や進学、ひとりひとりが新たなスタートを切ることになりました。

4年と5年の担任を務めさせていただき、足りないことも色々あったと思いますが、皆さんと一緒に過ごすことのできた時間がとても楽しかったです。4年次のインターンシップと研修旅行、5年次の進路指導などを今となって懐かしく思っています。そして、いよいよ卒業という日を一緒に迎えられたことを大変嬉しく思っています。

これからは、大半のメンバーが新しい場所で活躍し、新しい仲間と囲まれることとなります。ただ、高専を離れても、高専のことを決して忘れてください。多くの仲間と一緒に過ごしてきた高専での時間はおそらく二度とないようなかけがえのない経験だと思います。高専との絆を大切に、それぞれの道をしっかりと踏みしめて今後も頑張ってください。

### ～みなさんからのメッセージ～

「芦刈 茉奈美：このクラスで5年間過ごせて良かったです」「井上 敦暉：5年間いろいろあった、大変でした」「上杉 咲：もう授業中に漫画は読みません」「江藤 成吾：あふ時は 語りつくすと思へども別れとなれば残る言の葉」「大里 梢：5年間楽しかったです。ありがとうございました!」「大野 侑也：七転八起」「岡本 翔真：あつという間の5年間でした。なんやかんや大学生じゃなくて、高専生やってよかったです。楽しかったよ、みんなありがとう」「小野 源太：1日3バナナ」「工藤 拓歩：つる先生をはじめS科教員の皆様5年間ありがとうございました」「後藤 悠志：ブンブンハローユーチューブ!! HIKAKIN最高!!」

「佐藤 賢太郎：The future belongs to those who believe in the beauty of their dreams.」「佐藤 貴一：咲さん、5年間マネージャーお疲れ様でした」「佐藤 弘：友達100人できました」「相馬 柁希：拝啓この手書きを読んでいるあなたは高専で卒業間近だろう。20の俺には誰にも話せないクラスからのコメントがあるのです。未来の自分に宛てて書く手書きならきっと素直に打ち明けられるだろう。今、落ちそうで泣きそうで留年してしまいそうな俺は誰のテストを信じ受ければいいの?ひとつしかないこの単位が何度もバラバラと落ちて苦しい中で、今受けている、今受けている」「瀧澤 尚希：人生の危機と思ったことが何回もありましたが、乗り越えてこられたのは艦これのおかげでした」「田口 瑛介：5年間の学生生活、長いようであつと言う間でした」「田崎 弘一郎：やはり自分は地球人であるということを再認識した5年間でした」「田中 優司：Miluji tē」「田中 理瑚：このクラスで良かったです。みんなありがとうー!!!!」「利光 信太郎：S12も

S13も楽しかったです。北九州にいるのでいつでも飲み誘って下さい!!」「戸田 葵：みんなすき」「野尻 大貴：我、天より生まれ堕ちし闇。一切衆生我の手によって裁かれん」「平井 雅人：我、天に昇りし第六の光。闇に裁かれし民たちはいずれ我によって導かれん」「廣田 憲幹：形式言語理論と計算理論た一のしー!」「藤澤 兼太：5年間本当に楽しかったです。皆さんありがとうございました!」「藤縄 昭人：明野通信に100万以上かかっているってマ?」「藤山 菜央：楽しい5年間でした!みんなありがとう!」「船越 優樹：みんなが将来どうなっているか楽しみです。5年間ありがとうございました!」「松下 柚子菜：Earth 5年間応援ありがとうございました!」「溝上 友貴：Good luck in your next adventures!」「安田 正虎：卒業できますように」「鎗丸 郁実：5年間クラスのみならず過ごすことができてたのしかったです!」「吉田 晋：3cm伸びました!」「渡部 孔耀：呉下と阿蒙にあらず!」「渡邊 優樹：簡単なゲームが作れるようになって良かったです!」



# ご卒業おめでとうございます

都市・環境工学科  
5C担任 高見 徹

5Cの皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。クラス担任として皆さんと一緒に卒業式を迎えることができたことを大変嬉しく思います。皆さんには今まで育てていただいたご両親やご親族の方々に深く感謝していただきたいと思います。無事に卒業できるのは、ご家族の温かいご支援のお陰であることを決して忘れてください。

クラス担任として、皆さんとともに4年生からの2年間を過ごさせていただきました。振り返ってみると、あつと言う間でしたが、4年生の夏のインターシップ、秋の研修旅行、5年生の就職・進学に際しての進路指導など、皆さんにとって重要なイベントに関わることができて、とても充実した2年間でした。また、球技大会や体育祭、高専祭などで、皆さんの個々の活躍や個性を間近に見たり、感じたりすることができたのもクラス担任ならではの役得であり、楽しい思い出となりました。皆さんはそれまでの躰がよかったせいか、4年生の当初はとても控えめな印象を持ちましたが、それぞれが学業や学生会、部活動等の各分野において大いに活躍し、とても才能豊かであることがわかりました。皆さんの将来が楽しみです。

これから皆さんは就職、進学など、それぞれの道へ進み、それぞれの人生を歩みます。そこには多くの困難や試練、挫折もあるでしょう。その時は、一人で問題や悩みを抱えずに仲間や先輩、保護者の方々に相談してください。それまでに相手を思いやり、誠実に、一生懸命努力していれば、必ず相談に乗り、力になってくれることでしょう。もちろん、担任は無条件で相談に乗ります。いつでもご連絡ください。皆さんの今後のご活躍とご健勝を心より祈念しております。



4年生の研修旅行(国会議事堂)にて(平成28年9月)



5年生の球技大会にて(平成29年5月)



# 専攻科修了 おめでとう!

専攻科長  
佐野 博昭

大分高専専攻科修了、おめでとうございます。

さて、先日、ある民間企業に勤める3名の本科卒業生が4年生のキャリア教育セミナーのために来校しました。A君は平成19年、B君は平成25年、C君は平成29年3月卒業生です。後輩に対していろいろな話をしてくれましたが、彼らの行動を観察していると、卒業後の勤務年数によって、「立派に成長したA君」、「成長途上のB君」、「成長しようと頑張っているC君」となりました。さらに成長しようと頑張っている卒業生の姿を見ることができ、心の中で彼らにエールを送った次第です。

皆さんもこれからさらなる「成長」を目指して頑張っていくことと思います。そのような皆さんにここで「ファイト」と「大エール」を送ります!

機械・環境システム工学専攻主任  
名木野 晴暢

専攻科修了おめでとうございます。みなさんが専攻科の課程を無事に修了し、7年間を過ごしたこの大分高専を巣立つ日を迎えることができ、本当に嬉しく思います。進路指導を含め主任として、ときには担任としてあれこれ言いましたがご容赦ください。しかし、そんなやり取りを経て、みなさんはとても立派になったと感じています。

4月からは就職・進学と歩む道は異なりますが、これからの時代を生き抜いていくためには、「自発的に動く(指示待ちにならない)」、「冷静かつ柔軟な判断(固定観念を持たず、落ち着いて時には視点を変えて最適な判断を)」、「相手の話を聞く・受け入れる(我が我が…にならない)」、「思い詰めない(ゆとりを持つ)」そして「笑う」が大切になると思います。みなさんは色々な可能性に満ち溢れています。みなさんの更なるご活躍を祈念しています。2年間ありがとうございました。

電気電子情報工学専攻主任  
嶋田 浩和

専攻科修了おめでとうございます。本科と専攻科合わせて7年間の過程を修了し、いよいよ本校を社会に向かって旅立つ日になりました。慣れ親しんだ環境からはなれ、新たな生活を皆さんには、期待と不安が混じっていることと思います。

現在の社会環境は厳しく、いろいろ悩むこともあるでしょう。日々を穏やかにそして活気をもって過ごす方法について先人は、「おいあくま」ということばを残しています。「お;おこるな」「い;いばるな」「あ;あせるな」「く;くさるな」「ま;まけるな」です。あくまとは自分自身だと思えます。自分を粘り強くふりかえり、きっと自分のできることを頑張る前向きな気持ちになれると思えます。

修了の日は、新たなスタートの日です。今後新しい環境でのより一層の飛躍を祈っています。

## 特別研究テーマ 一覧

### 【機械・環境システム工学専攻(MC)】

○安藤開「切削による潜像加工システムの開発」○安藤りほ「光の減衰特性を利用した赤土等流出水の汚濁度測定法に関する研究」○大山太郎「自転車とすれ違う歩行者の危険認識について」○御幡侑希「極限水力の有効利用に向けた小型ダリウス水車の性能向上に関する研究」○川野厚樹「高調波振動切削装置の開発」○都甲光「歯科において実際に用いられるインプラントの製作と評価に関する研究」○二宮周平「5軸MCの性能評価に関する研究」○原田努「振動流動化を用いた附着性粉体の供給および分散特性」○日高純真「高圧アロトロピー法により結晶粒を超微細化したbcc金属水素分離膜の創製」○姫野啓太「水素固溶および水素透過条件下におけるV系金属膜の応力状態のFEM解析」○広瀬優「我が国における最近100年間の気温と降水パターンの変化に関する考察」○藤井楓「未利用ボーリングデータを積極的に活用した液化化ハザードマップ作成システムの構築」○藤元光明「縦衝撃を受ける柱部材の波動伝播に与える面外慣性の影響」○御神本亮太「フッ素系液体によるリチウムイオン電池火災消火システムの開発」○山本寧音「軸方向傾斜機能材料からなる柱部材の線形曲げ座屈解析」

### 【電気電子情報工学専攻(ES)】

○内林光優「筋疲労モデルの構築」○岡田和夏「反事実に感情に関する推論フレームワークの提案」○岡本拓実「外来生物が生息するため池の数理モデル構築とその解析」○小野佑樹「SAR衛星ALOS-2に用いる簡易リフレクタの開発」○甲斐裕宇大「比抵抗・分極率・可充電率を同時に測定できる地下水電気探査装置の改良」○河野莉奈「HOG特徴量を用いたSVRによる顔特徴点抽出」○嶋航輝「離散双極子近似法による電磁誘起透明化に関する研究」○田中徹「関数型プログラミング言語の実装」○田中将貴「多数枚の劣化観測像からの像回復」○恒松和輝「ディープラーニングによるIC画像パッケージング検査システムの構築」○平野真幹「インバータで駆動される誘導電動機のノイズフィルタ設計法に関する研究」○堀佑貴「窓ガラス表面における振動解析のためのシミュレーション法の構築」○前花拓海「電力消費量に基づく人間の行動を推定するための基礎研究」○矢野将彦「指文字認識を用いたロボット操作に関する研究」○吉田悟志「タンパク質結晶化初期過程調査のための全反射減衰システムの開発」



# 退職者及び新任職員挨拶

技術部  
吉岩 哲也



勸君金屈厄  
満酌不須辞  
花発多風雨  
人生足別離

この杯を受けてくれ  
どうぞなみな注がしておくれ  
花に嵐のたとえもあるぞ  
さよならだけが人生だ

于武陵[うぶりょう]作

中学生の時にギターと出会いました。

当時はギターを持つだけで不良と言われた時代でした。

そういった周囲の目を無視してどんだんのめり込んで行き、ライブにもたくさん出ました。40代で体を壊し運動神経が全てやられてしまったために、しばらくの間ギターと離れてしまい、これまで購入したギターの処分を考えていたところに、当時の仲間から「またやろう」と言うお誘いを受けて、40年頑張った自分自身へのご褒美として新しくギターを購入し、自宅に手作りスタジオを作り音響機材を揃え、これからはバンドとライブ三昧の生活が始まります。

「不良老人」の誕生です。

大分高専の益々のご発展と、教職員の皆様のご健勝を、心よりお祈り申し上げます。

学生課図書係  
植木 美香



平成29年9月より、学生課図書係員として着任致しました植木です。高専の学生さんは、皆さん気持ちの良い挨拶をしてくれます。高専は敷地に緑も多く、毎日楽しく通っています。

以前は事務系の仕事をしていたのですが、図書館は初めてですので、何かと解らない事も多く、毎日が勉強の日々です。主にカウンター業務と図書の補修、装備をしています。高専図書館は、専門書のみならず文学書も数多くあり、予約待ちが短くて希望の本が借りれます。環境もよく自習学習にも最適だと思いました。

私には子供の頃出会った本、進学しても、就職しても、結婚してもずっと大事にしている本があります。大人になって出会った本もあります。特別な一冊をぜひ見つけに来てください。もちろん学習利用、調べもの等大歓迎です。学生さんが、勉強に読書に必要な本はいつでもリクエストして下さい。

カウンターでいつもニコニコしていますので、気軽に声を掛けて下さい。少しでも皆様の図書館利用のお手伝いが出来れば幸いです。ご来館を心からお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

学生課教育支援係  
古賀 由紀子



平成29年10月より学生課教育支援係に事務補佐員として着任いたしました古賀と申します。KOSEN4.0イニシアティブ採択事業であるアグリエンジニアリング教育担当として勤務しております。

大分に移り住んで、今年で6年目になります。その大分で、ご縁あって高専の職員として勤務させて頂くことになり、息子のような学生さんたちのために仕事ができることに、日々喜びを感じています。

不慣れなことも多く、皆様にはご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、少しでも大分高専に貢献できるよう精一杯努力して参りますので、何卒よろしく願いいたします。





## ふたつの視点をもって

機械工学科学科長 小西 忠司

機械工学科の学生諸君、保護者の皆様、ご卒業・ご修了おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、私事ですが、昨年6月に左膝前十字靭帯を断裂し、9月に再建術を終えて、車いすで約1ヵ月間生活しました。「歩けない」という弱さを担った時、「人や自分はどのように行動し、思うのか」を体験しました。目線を見上げて学生と話したり、急坂で車いすを押してもらったり、道を空けてエレベータに乗せてもらったり・・・謙虚になって学生に自分の「弱さ」を表明しました。自分の「弱さ」を経験して、今まで意識しなかった大切な姿勢を学ぶことができました。セントポルタ中央町で、身体障害者で車いすの方が、通路の端を通行されていた光景を見ました。車いすに乗ると、アーケードが中央部から排水溝側に沿って僅かな傾斜があることに気づきます。つまり点字ブロックがある中央部の側を通行すると、車いすは直進できません。端部は傾斜があまりないので直進しやすいし、ウインドウショッピングもできるので、合理的であると思いました。視点を転じると、物事の見方が変わります。これから、社会にでる諸君は、会社の組織で、様々な人と接することでしょう。組織が、あなたの多様性を受け入れ、あなたの強みを活用することを願っています。そのために、「自分と他人の二つの視点」に立って物事を進めることが大事だと思います。さて、自分の視点とは、どのようなことでしょうか。聖書イザヤ書43:4に「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」とあります。私たち神によって創造された人はそれぞれ価値ある存在であると語っています。他人との比較でない自己肯定感、静かだけれども揺るがない穏やかな自信こそが私たちの人生を豊かにすることでしょう。自分の価値を信じた自己の視点と他人の視点の尊重の2つの視点を持って、希望をたずさえて、共に前に進んで

いきましょう。

## 高専生活について

1M担任 原口 忠之

入学式から気づけば、早いもので1年が過ぎようとしています。4月からの高専生活にも十分慣れたと思います。とくに、進級していくことの大変さ等は前期の定期試験から身に染みて分かったことだと思います。とくに、理系科目の重要性については、学年が上がるにつれて増していきます。平日頃からの勉強を忘れずに精進してほしいと思います。5年生の卒業式を迎える日は、早いです。それまでに、自分の将来設計を明確に構成して、進路を決めることは、豊かな人生を送るために欠かせません。勉強・部活を通して、協調性や専門的技術を学んだり、体を鍛える等して、自分と向き合いながら、しっかりと高専生活を送っていただければと思います。何か困ったことがあれば、いつでも相談してください。力になればと思います。

## もうすぐ3年生ですね

2M担任 池田 昌弘

2Mの皆さんは高専に入学してからももうすぐ2年が経とうとしています。高専の学生生活も慣れてきたかと思いますが、振り返ってみていかがでしょうか？担任としてまず思ったことは、とても頼もしくなったなど感じたことでした。例えば、清掃は率先してやってくれるようになり、また、試験に向かう姿勢がよくなり、正面からぶつかっていける学生が増えてきました。今年は2Mの皆さんは3年生になります。(皆がそうであることを願っています)10代の一年一年は人生においてとても大切なステップです。10代、20代の頑張りって、結構大事なんですよ！自分のキャリア形成にどう繋がっていくかを考えながら日々過ごして行って欲しいですね。昨今、全国の高専を卒業して活躍されているエンジニアの方々が沢山います。大分高専から巣立つ卒業生が社会で大活躍している姿を

是非見たいと思っています。

## 進路決定まで、残り約1年!!

3M担任 山本 通

既に高専での生活も折り返し地点を過ぎました。ここからの時間の流れは早く感じるようになるはずです。進路について、おおよその形が見えてきたでしょうか？今後の君達のスケジュールについて考えると、ほとんどの者の進路が決まるのは、おそらく5年生の5月～7月頃です。当然、その前に面接等を受けますので、準備期間は実質的には約1年程度しかありません。それまでに、「高専生活で頑張ったこと」や「得意科目」を聞かれた時に答えるためのトピックを完成させねばなりません。機械工学科の学生の最大の強みの一つは、実験や実習を通して得た豊富な現場経験だと思います。できれば、これらにからめて得意科目を語れるとベストです。残り1年足らずです。危機感を持って準備をしていきましょう!!

## 「理念」について

4M担任 中野 壽彦

この文章を読んでいる時期、皆さんは進路について考えていると思います。進路の希望が明確な人、反対に方向性が定まっていない人、様々かもしれません。「自分にとって何が良いか」を知るのは極めて困難です。自己分析するほど普段私たちがいかに「自分」に対して無知・無関心かが分かります。私の経験上、理念(=人生において大事な点)を見出すことが重要だと思います。全てが望み通りに生きるのは不可能で、人生は最期の瞬間までトレードオフです。重要な選択を迫られる時、何かを犠牲にするため腹を括らなければなりません。その時、コレだけは譲れない、貫き通したいという「理念」が自分自身の道しるべになります。些細な事で構いません。進路を考える上で、私の理念が何なのか意識すると、多少でも迷いが軽減されると思います。

# 電気電子工学科 通信

## 積極性とコミュニケーション能力

電気電子工学科科長 清武 博文

卒業する皆様、おめでとうございます。15歳から5年間の高専生活は如何でしたか？体と心と魂を鍛えることはできたでしょうか？勉強では、専門性が大きく増した電気電子工学の修得も大変だったでしょうが、工学実験ⅢでのPICを用いた設計製作、デザイン実習に加え、集大成となる卒業研究に打ち込んだことでしょうか。さらに、大きなイベントとして進路の決定と採用試験・編入学試験がありました。当時は大した事はやってないと感じたかもしれませんが、皆さんは様々な難関を無事通過して今があるのです。それぞれ成功や失敗の体験があり、大きな成長があったのです。是非今一度、高専生活の思い出を振り返り、その体験と感情を思い出して下さい。

在校生の皆様、4月からは新しいクラスで学校生活が始まります。ここで大切なのは、感謝の気持ちを持って学生生活を送ることです。学校に行けること、勉強できること、朝学習や試験を受けられること、運動できること、すべてにおいて感謝の気持ちを持って、積極的に取り組んでください。

皆さんにも、いつか就職や進学を決める場面で面接があります。そこではそれまでに培った能力や多くの体験を人間対人間として問われることとなります。その中でも特に問われるのは、自ら動く積極性とコミュニケーション能力です。学生である期間に、この2つを鍛えましょう。コミュニケーション能力を身につけるには、話して良かったと思える体験を多く持つことです。何かを知りたいと思う、そのために本を読む、師に聞く、その内容について友と話す。どれもコミュニケーションです。何かの感情を伝えたい、これもコミュニケーションです。さあ、楽しもう！



## 汝、自身を知れ

1E担任 藤本 教寛

有名な古代ギリシャの格言に、この1年を振り返って皆さんは何を思うでしょうか。中学生から高専に入ってきて、1年間。最初はやる気と期待に満ち溢れていたはずの高専生活が、いつしか妥協と惰性の日々に取って代わってはいませんでしたか？テストが返却される度に、「次回こそはがんばろう」という志を持ちながらも、その次回になると「まあ、なんとかなるか…」と妥協が生まれ、そして再び間違いを繰り返す。その結果、この1年の総評に、苦汁を飲む人がたくさんいるのではと思います。「甘え」「言い訳」「言い逃れ」「妥協」。いくら「逃げ」でその場を凌ごうとも、高専では自分自身の行いの結果が、自分自身にきちんと返ってきます。サボった分だけ授業の難易度は上がったように見え、逆に頑張った分だけ高専生活は充実します。自分で、今後の高専生活をどうしたいですか？「汝、自身を知れ」。自身の行いを省みて、今後の人生を考えていきましょう。

## 光陰可惜 時不待人

2E担任 石川 誠司

2学年として過ごした1年間が終わろうとしておりますが、皆さんの心や学力は成長できたでしょうか？次のステップに進む皆さんにエールという形で題目の言葉を贈ります。

一部抜粋ですが、「こういんおしむべし、ときひとをまたず」と読みます。私たちが過ごす世界では時は止まってくれません。皆1年間は平等に与えられ、あつという間に過ぎて行ってしまいます。今年度と同じことは2度とありません。時間は財産だという人もいますが、1年間で何をやるのかをよく考えてください。勉学・部活・睡眠・遊戯・恋愛・思案様々などが選択肢にあると思います。どの選択肢も価値があり、否定されるものではないですが、無為な時間の過ごし方をせずに、将来後悔が残る選択はしないよう心掛けてください。

## 3Eのみんなとの思い出

3E担任 大庭 恵一

私は大分高専にきて17年目ですが、電気電子工学科(E科)の担任を任されるのは初めてでした。E科はスポーツが苦手という勝手なイメージがありましたが、球技大会の硬式テニスで見事優勝を成し遂げ、体育教員の担任としてはこの上ない喜びを味わわせてくれました。3Eのみんなとは、主に朝のSHRでの付き合いでしたが、みんな一生懸命に朝学習に取り組んでいましたね。実は、かなり感心していました。

9月には1泊2日の校外研修があり、夜少しハメを外して、副担任の佐藤秀則先生の逆鱗に触れたようだけど、今となっては旅のいい思い出？となっているのではないのでしょうか。(笑)

みんなは私のことをよく怒る担任と思っていたかもしれませんが、私はみんなと過ごす時間がすごく楽しかったです。今後の活躍を期待しております。

## 覚悟を決める

4E担任 上野 崇寿

今、この文章を第一回目の進路希望調査を見ながら書いています。思い思いの進路先を書いています。皆さんがこれを読んでいる時は、最終の希望調査が終わり、進むべき道筋が見えていることと思います。

いよいよ、来月からは本格的に就職活動が始まります。周りが就職活動や進学勉強をしていくなか、「本当にこの就職が良いのだろうか」、「進学先の選択は間違っていないだろうか」などと不安を持つこともあるのではないのでしょうか。

なかなか、覚悟が決まらない進めない人は、できる準備や対策をして、不安をなくす努力をして下さい。冷静にやるべきことを考えて、淡々とやること。そうしようと自分で決めることが何よりも重要です。

就職、進学何れにせよ「覚悟を決め」、自分で不安を断って前進するときです。是非とも良い結果を残してくれると期待しています。

# 情報工学科 通信

## 虚心坦懐にきく

情報工学科科長 霧 浩二

ご卒業おめでとうございます。高専に入学された頃と比べると、顔つきもすっかりして、少年少女が立派な大人に成長したと思います。身体的な成長だけではなく、色々なことに悩み、友人や社会とより多く接することにより、考え方や生き方も成長してきたと感じています。知識や技術の面でも、高専を卒業するために必要な一単位一単位を確実に得る努力をすることにより、皆さんが感じているよりも確かな力が着いていることを、私たち教員は知っています。

4月から、皆さんが選んだ場所に進み、仕事や勉学に取り組むこととなります。期待や希望が多い反面、環境に馴れるだろうか、周りの期待に応えられるだろうか、友人はできるだろうかなど多くの心配が頭をよぎるのではないのでしょうか。新しい環境で困ったら思い出してほしいのは、「虚心坦懐(きょしんたんかい)に聞く」ということです。虚心坦懐とは、心が素直で、先入観もなく、広く穏やかな心境という意味です。新しい環境では、知らないことが多く、よく知らない人に囲まれています。「こんなこと聞いたらばかにされるかな」、「忙しそうにしているのに邪魔かな」とかいろんなことを考え、聞けないことがあります。でも、周りの人も最初は新しい環境に入ってきた経験者です。先入観を持たずに、虚心坦懐に質問してみてください。また、周りの人の話や意見も自分の価値観にとらわれずに、まずは『虚心坦懐に聴く』ことも大切です。環境や経験が違えば人の考え方も違って当然です。自分の意見を持つことは大切ですが、人の意見をよく聴いて、理解することも大切です。新しい世界で、新しい考え方に触れ、心の幅を広げてください。

## Be confident!

1S担任 藤原 宏司

皆さんが高専に入学して約1年が過ぎようとしています。今も初心を忘れず

に目標に向かっていきますか。まだ専門科目は少ないですが、おぼろげながらも将来像が見え始めた人もいないのではないのでしょうか。また、学校行事や部活動の大会等も一通り終わり、学生生活のすこし方もゆとりを持って対応できるようになったと思います。学業については難しいのは当たり前で、だからこそやる価値があります。自信を持って取り組んでください。

新年度を迎える前の休みを利用して、この一年間の自分の生活を振り返ってほしいのです。次の一年間をさらに有意義に過ごすために、もう一度目標を見直してみてください。君たちならばきっと素晴らしい高専生になれます。

## 2年生を終えて

2S担任 堀 栄造

2Sの諸君を担当して、2年間が経過しました。みんなが、順調に青年らしくたくましく成長して、喜ばしい思いです。

この2年間、ほとんど毎日放課後に教室掃除の監督をし、掃除当番の掃除ぶりを見守りながら、他方で、放課後の一息ついた時間のみんなのくつろいだ表情を浮かべた友達づきあいの様子も、垣間見ることができました。

みんなが責任をもって掃除当番の義務を果たしてくれたおかげで、1年生の終わりには、校内美化コンクールで表彰されました。そして、全員が、互いに親愛の情をもってまとまってくれ、理想的なクラスができあがったと思います。

3年生へ進級しても、整理整頓を怠らず、健全な人格形成を成し遂げていてもらいたいと思います。

## 食わず嫌い

3S担任 徳尾 健司

食わず嫌い、という言葉がありますよね。食べたこともないのに、見た目や匂いで避けてしまったり、子供の頃に「嫌い」にカテゴライズしたつきり、ずっと食べないまま…ということも。でも、大人になって恐る恐る食べてみたら、案外

大丈夫だったり、逆に好きになったりすることもあるものです。

勉強や人間関係にも似たところがあって、最初の直感で「この教科は/この人は苦手」「私には関係ない」「合わない」「無理」と壁をつくってしまうと、将来にわたって自分の世界を狭めてしまうことにもなりかねません。みなさんは「端から諦めている教科」や「3年間ほとんど話したことがないクラスの人」に心当たりはありませんか?ここでほんのちょっと意識の壁を乗り越えれば、「意外と面白いな…」「実はいい人だった!」と再発見することも、きっとあるのではないかと思います。

## 進路選択

4S担任 小山 幸伸

4Sのみなさんは、インターンシップ、研修旅行、校内SPI模擬試験、大学説明会、OB講話を既に経験しました。今後は本格的に進路選択が迫られます。現在は転職が当たり前ですが、今後は40年間1社に勤務する可能性も排除できませんので、しっかりと企業との相性を見極めましょう。

進学希望者は、過去の編入学試験問題のいくつかを確認済みであり、またTOEICを受験した学生も多く、自分の現時点の実力を把握できました。今後は、憧れの進学先が求める能力との差を埋めるべく、勉学に努めましょう。

ライフ・イベントは人それぞれであるので、来年度に控えた進路選択が、みんな横並びで何かに向かう最後の経験になるかもしれません。みなさんは多くの同級生と異なる高専を選択したこと、自らの道を切り開いていく素養を既に持ち合わせています。この能力を発揮し、自らの意思によって人生を切り開いて頂きたいです。



## 都市・環境工学科 通信

### 社会に貢献する技術者に!

都市・環境工学科長 田中 孝典

2017年7月に福岡県と大分県を中心とする九州北部では、観測史上1位を更新する集中豪雨が発生し、また、同年9月には台風第18号により多くの地域が甚大な被害を受けました。

大分自動車道を利用して、大分市から福岡市に向かう途中、車窓から九州北部豪雨による被災地を見ると、未だに復旧されていない地域があり、その被災状況などから、改めて自然の力に対して脅威を感じます。

学生の皆さんが学んでいる土木工学は、道路、橋などの社会資本を建設するだけではなく、自然災害による被災地の復旧・復興および防災・減災に大きく貢献することから、人命救済の学問と言えるかもしれません。

在学生は、授業を通じて基礎的な専門知識を学び、今年卒業予定の5年生は、実社会で更に高度な専門知識を身に付けられて、土木技術者として社会に貢献されることを期待しています。

### 教養が大事

1C 担任 田中 美穂

今、皆さんは高専において基礎学力を身につける時期にいます。専門の工学系科目や理系科目以外にも、語学力など人文学系の幅広い知識が社会人には求められます。英語、社会、国語などの教科で学ぶ知識は、大人になってからも必要な基礎となるものです。

いつでも「自分ファースト」では、周囲から孤立し、嫌われます。皆さんには、自国や自分のことばかりだけではなく、国際情勢や周囲をよく観察した上で物事を考え、判断できる社会人になってもらいたいです。差別など自分がされて嫌なことは人にもしない、社会で求められていることを的確にとらえて動くことができる、そういう大人になってもらいたい

です。

そのためにも、フェイクの多いネットだけではなく、新聞、書籍といった執筆者が明確で、複数の人が校正する記事や文献に当たしましょう。こういう世の中だからこそ教養が大事です。

### 良いクラスを作ろう

2C 担任 東木 雅彦

良いクラスを作るにはどうしたらよいでしょう?

そのためにはまず、ルールを守ることが大前提です。

次にそれぞれがクラスの何らかの役割を果たすことも大切です。例えば、週番や掃除当番になったら、その仕事をきっちりやる。また、「他のクラスメートに迷惑をかけない」というのも当然ですね。クラスメートを大切にしてほしいのです。これからの皆さんの終生の友になっていく大切な人たちなのですから。

ついでに担任も大切に・・・(笑)

クラスが良くなれば、その恩恵を一番受けることができるのは他でもない、クラスの皆さんです。

来年度には皆18才になります。大人になった皆さんが作る新たなクラスを期待しています。

### そろそろ社会を意識して

3C 担任 北川 友美子

皆さんが大分高専に入学して、はや3年が過ぎようとしています。

3Cの皆さんと一緒に過ごした年月は私にとって、本当に楽しい、かけがえない宝物のような時間でした。そして私自身が成長できたと感じられる一年でした。きっと皆さんも自身に対して、同じように感じているだろうと期待しています。

もうすぐ4年生、世間ではいわゆる大人と認識される時期に入ります。社会人としてのマナーが身につけていない人、特に他人の話を受けない人間は社会から

冷ややかな目で見られることでしょう。自分自身を貫くことと、周りを思いやることは表裏一体です。

幸運にもやさしく朗らかな性格を持ち合わせている3Cの皆さんなら、きっと立派な社会人になれるだろうと期待します。頑張ってください!

### 各員一層奮励努力セヨ

4C 担任 工藤 宗治

2020年の東京オリンピックまで進むと言われる建設業バブル。しかしそれを過ぎるとどうなるのか、先行きは五里霧中の状況です。そういった光が見えていくところとその先はモヤがかかった状態の社会に飛び込む皆さんは、自分の進路も絡めて不安になっているのではないのでしょうか。

「本日天気晴朗なれど波高し」。この言葉は司馬遼太郎作「坂の上の雲」の主人公の一人である秋山真之が日露戦争日本海海戦時に連合艦隊で起草した文章です。

この文章の意味は諸説あり、曰、①「当日の天気を述べたもの」、②「気分は上々だが、行く手には困難が待ち構えているだろう」という意味、③「晴れているので相手ははっきり見えるし、波は高いが相手より自分達の方が十分訓練しているので勝利できる」・・・などがあるそうです。

いずれにしてもしっかりと準備していれば少々の困難に直面しても対応でき、目標を達成できるという意味にとれます。

今年は進路を決定する大事な1年です。皆さんそれぞれ自分の目標を再確認し、来たるべきその日に向かって自己の研鑽になお一層努めることを期待します。



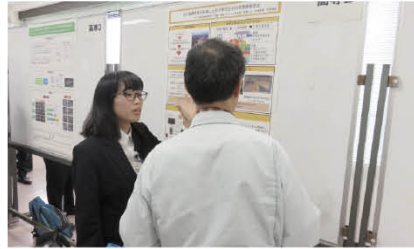
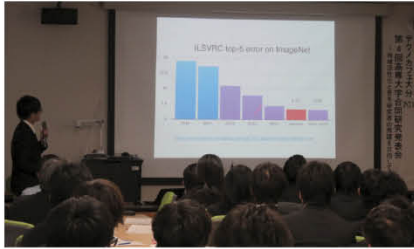
# 専 攻 科 通 信

## 第4回大分高専・大分大学 合同研究発表会開催

平成29年12月22日(金)に大分大学巨野原キャンパスにて「第4回大分高専・大分大学合同研究発表会」が開催されま

した。今年は「テクノカフェ大分2017」と題し、地場企業様と学生・教員が意見交換を通し交流を深める試みを初めて実施しました。大分高専専攻科から17名、大分大学から15名が参加し、2分間のポスター概要講演と30分間のポスター発

表を行いました。大分高専から、最優秀賞に安藤りほさん、優秀賞に浜野佑介君、奨励賞に恒松和輝君・加藤英徳君の4名が選ばれました。来年度も多くの学生の積極的な参加を期待しています。



### ● 外部発表一覧 (平成29年1月から12月までに発表済みのものを掲載)

※第4回大分高専・大分大学合同研究発表会は第4回合同研究発表会と略しています。

**機械・環境システム工学専攻1年** ●秋永史也：フライアッシュ系ジオポリマーの高温抵抗性とナトリウム系アルカリ溶液濃度の関係、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●麻生優衣：大分市中心部における熱環境緩和対策に関する研究、第27回九州沖縄地区高専フォーラム、平成29年12月 ●榎木寛大：走行自転車とすれ違う歩行者の危険認識に関する調査、第27回九州沖縄地区高専フォーラム、平成29年12月 ●加藤英徳：凍害によるスケール抑制材としての高吸水性ポリマーの効果、土木学会第72回年次学術講演会、平成29年9月 ●加藤英徳：ジオポリマーの部分吸水に伴う表層劣化、第4回合同研究発表会、平成29年12月【奨励賞】 ●河野洋輝：大分県芹川ダム貯水池に堆積する底泥による水質への影響の検討、土木学会第72回年次学術講演会、平成29年9月 ●河野洋輝：大分川・大野川流域からの栄養塩の流出過程に関する研究、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●小林綾斗：V水素分離膜の延性-脆性移行固溶水素濃度に及ぼす水素透過の影響、日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部共催合同学術講演大会、平成29年6月 ●稗田玄太：フッ素系液体の発泡化によるリチウムイオン電池火災の消火に関する基礎的研究、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●横田喜念：大分県大分川の河川水温に関する考察、第4回高専・大学合同研究発表会、平成29年12月 ●渡邊直人：Effect of the Electrical Material Properties on the Surface Pressure Distribution of a Circular Cylinder, The 6th International GIGAKU Conference in Nagaoka, 平成29年10月 ●渡邊直人：Investigation of Charged State of a Circular Cylinder in Flow, 2nd International Conference of Science of Technology Innovation 2017, 平成29年10月

**電気電子情報工学専攻1年** ●尾崎光：表情認識のための顔特徴点位置推定に関する研究、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●川野航平：パルス高電界による微生物滅菌の温度特性に関する研究、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●佐藤建：パルスパワーによる薬剤耐性菌の不活性化に関する研究、プラズマ/パルスパワー/放電合同研究会、平成29年10月 ●佐藤建：PEFによる滅菌のインピーダンスモデリング化に関する研究、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●佐藤祐大：プログラミング教育におけるプログラム検証ツールの活用、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●高野修平：記憶パターンに相関を持つXYスピントラップモデルの想起特性、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●津野龍：ディープラーニングモデルVGG16を用いた地中レーダ画像の物体識別、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●浜野佑介：ディープラーニングモデルYOLOを用いた地中レーダ画像の物体識別、第4回合同研究発表会、平成29年12月【優秀賞】 ●泥谷亮太：外部電場印加法によるHEWL結晶化作用の印加時間依存性、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●宮成祐輔：Start-up of earth observation by a small laboratory, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, 平成29年5月 ●山内杜夫：超高層物理学におけるモデルとシミュレーションによるデータのメタデータ表現の考察、第142回地球電磁気・地球惑星圏学会総会・講演会、平成29年10月

**機械・環境システム工学専攻2年** ●安藤開：5軸マシニングセンタによる潜像加工技術への挑戦、日本機械学会九州学生会第48回学生卒業研究発表講演会、平成29年3月【優秀講演賞】 ●安藤りほ：光の減衰特性を利用した赤土等流出水の汚濁度測定法、第4回合同研究発表会、平成29年12月【最優秀賞】 ●二宮周平：5軸マシニングセンタの性能確認用加工試験、日本機械学会九州学生会第48回学生卒業研究発表講演会、平成29年3月 ●原田努：振動流動化による付着性粉体の供給に関する研究、日本機械学会中国四国支部第55期講演会、平成29年3月 ●日高純真：バナジウムの水素透過能と耐水素脆性に及ぼす高圧アロトロピー組織制御の影響、日本金属学会第160回春期講演大会、平成29年3月 ●日高純真：強びずみ加工による超微細粒組織がバナジウムの水素透過能に及ぼす影響、第27回日本MRS.年次大会、平成29年12月 ●日高純真：結晶粒を超微細化したbcc金属水素分離膜の創製、光線連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会、平成29年12月 ●姫野啓太：水素固溶および水素透過条件下におけるV系水素分離合金膜の応力状態のFEM解析、日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部共催合同学術講演大会、平成29年6月 ●姫野啓太：水素固溶および水素透過条件下におけるV-10Fe合金膜のFEM変形解析、第27回日本MRS.年次大会、平成29年12月 ●広瀬優：我が国における最近100年間で気温と降水の変化に関する考察、第27回九州沖縄地区高専フォーラム、平成29年12月 ●藤元光明：Loveの修正された波動方程式に基づく円形柱部材の一次元応力波伝播解析、第5回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム、平成29年12月 ●山本寧音：軸方向に傾斜機能を有する線形座屈部材の線形座屈固有値問題の解析手法、平成28年度土木学会西部支部研究発表会、平成29年3月 ●山本寧音：軸方向に傾斜機能材料からなる柱部材の線形座屈特性に与える縦弾性係数の変化の影響、第5回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム、平成29年12月

**電気電子情報工学専攻2年** ●甲斐裕宇大：比抵抗・分極率・可充電率を同時に測定できる地下水電気探査装置用受信器の開発、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●恒松和輝：ディープラーニングを用いたIC画像パッケージング検査システム、第4回合同研究発表会、平成29年12月【奨励賞】 ●平野真幹：インバータで駆動する誘導電動機に用いるノイズフィルタの素子値選定に関する研究、第4回合同研究発表会、平成29年12月 ●前花拓海：家庭の電力消費量に基づく人間の行動を推定するための基礎研究、電気情報通信学会技術研究報告(スマートインフォメディアシステム研究会)、平成29年6月 ●矢野将彦：指文字認識を用いたロボット操作に関する研究、平成29年度(第70回)電気・情報関係学会九州支部連合大会、平成29年9月

# 各種報告

## 高専ロボコン2017 (地区大会、全国大会)

今年の競技課題は「大江戸ロボット忍法帳」。相手陣地や相手ロボットの風船を、独自の武器で割り合う競技です。

九州沖縄地区大会は10月29日(日)、大牟田市民体育館(福岡県)で行われました。Bチームは残念ながら3回戦敗退でしたが、Aチームは勝ち上がり、決勝の大接戦を制して地区大会2連覇を達成。全国大会の出場権を得ました。

全国大会は12月3日(日)、有明コロシアム(東京都)で行われました。1回戦で鈴鹿高専に勝利、2回戦は地区大会の決勝と同じく北九州高専が相手でした。大接戦でしたが僅かに早く相手に風船を割られ、悔しい敗戦でした。

しかし表彰では、プラダンを活用したロボット設計、転倒から起き上がる機動性など技術力が認められ、本校初のロボコン大賞を受賞しました。30周年の記念大会において、学生たちの実力の高さが証明できました。

大会出場にあたり、応援や募金など様々な形でご支援下さった皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも、応援を賜りますようお願い申し上げます。

【全国大会出場メンバー】

佐藤恵(5E)、池田一貴(5E)  
福田健太郎(4S)

【ピットクルー】

西川創太(4M)、岩本一希(4E)  
村田一陽(4E)、廣田尚樹(4S)  
野田琉人(3M)

【ロボット研究部顧問】

軽部、本田、中野、高橋(健)



## 第54回九州高専ラグビー大会

11/11(土) 1回戦 対都城高専  
0-36 (前半0-24、後半0-12) 敗退  
会場: グローバルアリーナ(福岡県宗像市)

4月の時点で部員の数は10人だけで、11月の15人制の大会に出場できるか不安でした。野球部やサッカー部などから助っ人をかき集め、最終的に21人で大会に出場することができました。

一回戦の相手は昨年も対戦した都城でした。昨年は12-33と負けているので絶

対に勝ちたい相手でした。

試合内容としては、前半から相手BKからの速いパス回しでディフェンスの連係ミスにより失点を重ねてしまいました。後半も相手の勢いを止めることができず、自分達のラグビーができませんでした。最終盤、大分が得意としてFW中心のアタックで敵陣深くまでボールを運び、トライまであと少しのところでいきましたが、都城の堅いディフェンスに阻まれ無得点で終わってしまいました。

最後は負けてしまっただけで悔しい気持ちが残るけど、勝利を目指してみんなで頑張った日々はかけがえのないものです。助っ人に来てくれた友人達やマネージャー、顧問の先生方、親など、自分を支えてくれたすべての人に感謝したいです。

(主将 渋谷慶陽(5M))

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 眞壁(5M)    | 12 加藤(5M)    |
| 2 佐藤(諒)(5M) | 13 池邊(5M)    |
| 3 津代(4E)    | 14 大橋(4C)    |
| 4 岡(5M)     | 15 後藤(陽)(3C) |
| 5 渋谷(5M)    | 16 矢野(1M)    |
| 6 伊藤(4E)    | 17 御手洗(5E)   |
| 7 川合(5M)    | 18 高橋(5M)    |
| 8 江良(5M)    | 19 ハジフ(3M)   |
| 9 岡林(1M)    | 20 金崎(5M)    |
| 10 栗山(2M)   | 21 迫部(5M)    |
| 11 友成(5M)   | 22 村上(4C) マネ |

## 全国高等専門学校 第28回 プログラミングコンテスト

電子計算部は10/8~9に山口県周南市で開催された第28回全国高専プログラミングコンテスト(競技部門)に参加しました。

今年の競技は「おいでませ、ホントの魅力へ」と題して、枠にピースを隙間なくはめ込む実物のパズル(周南市近辺の名所・名産品の図柄となっている)をより速く完成させるというものです。パズルはコンピュータの補助を借りないと制限時間内に完成させることは事実上不可能なため、各チームは約半年をかけてパズルを解くプログラムを開発して持ち込みます。昨年度も同様の競技でしたが、今年度は各チームには4つの「ヒント」が配られ、「ヒント」を使うとそのスコアのペナルティを受けるというルールが加わりました。どの程度「ヒント」を使うかは、他のチームとの駆け引きになります。

一回戦で、大分チームは、1つしか「ヒント」を使わずに高得点を狙う戦略で挑みましたが、時間内にパズルを完成することができず、多くの「ヒント」を使用した他チームに敗れるという結果になりました。翌日の敗者復活戦では、プログラムおよび戦略を変更し、ヒントを2つ

まで使用して完成を目指したものの、最後の数個のピースが埋まらず惜しくも準決勝へ進むことはできませんでした。今回の大分チームのメンバーは全員3年生でしたので、今後の成長に期待したいと思います。

今回の出場にあたり、関係の教職員の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

出場メンバー: 河野稜斗(3S)、佐藤凌誠(3S)、吉海皓貴(3S)



## 第22回西日本地区高等専門学校 駅伝競走大会

平成29年12月25日

山口きらら博記念公園 (山口市)

【男子駅伝の部】

総合順位 5位 (全15チーム)  
総合タイム 2時間23分39秒

- 1区(10km) 染矢大翔(4S)(区間6位)  
2区(3km) 西谷 陸(4M)(区間4位)  
3区(8km) 岩田隆正(5M)(区間3位)  
4区(3km) 榎本紘之(4C)(区間5位)  
5区(8km) 宿野圭佑(3M)(区間8位)  
6区(5km) 坂本泰都(3E)(区間13位)  
7区(5.195km) 栗誠哉(2S)(区間4位)



【3K記録会】

- 男子: 20位 吉田圭吾(2E)、  
33位 山下颯一朗(1S)  
39位 小野源太(5S)  
46位 喜見優樹(1C)  
47位 吉田大成(1C)  
女子: 12位 越智尚美(4C)

駅伝では、昨年より順位を一つ落としてしまいましたが、5年生を中心によく頑張ったと思います。

今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。

# 学生会便り

## 2017高専祭



高専祭実行委員長  
都市・環境工学科  
5年 本田 信也

こんにちは。高専祭実行委員長の本田です。

10月28日(土)に第52回高専祭が行われました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、多くの方々にご足労頂きまして、スタッフ一同感謝しております。

さて、今年度の高専祭は、第52回ということで、中途半端だなと思った方もいるのではないのでしょうか。しかし、この先二度と第52回高専祭はやってきません。そう考えると、記念すべき年だったと内心自負しております。

例年通り出展店が軒を連ねていましたが、学生達が雨にも負けず集客・接客活動をしている姿を見て心をうたれました。思わず買ってしまった、寄ってしまった、そういう方も少なくないと思います。

ステージ企画では、書道パフォーマンスや子どもダンスパフォーマンスなど、胸が熱くなるような企画を行って良かったです。

また、文化部による文化展示では、私自身が実際に体験しまして、とても良い経験をさせて頂きました。文化部の学生方、顧問の先生方、ご協力ありがとうございました。

さて、長くなってしまいましたが、第52回高専祭も特に大きなトラブル無く終えることができました。来年度以降の高専祭は、クオリティも雨もあがってくれると思いますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

## 2017音楽祭



音楽祭実行委員長  
都市・環境工学科  
5年 安部 芽吹

11月3日(金)に第51回音楽祭が、大分高専 第一体育館にて行われました。

会場では、吹奏楽部・軽音楽部による演奏、美術部・写真部・書道部による作品展示が行われ、大分高専の関係者のみならず、一般の方にも楽しんでいただきました。

実行委員は、数か月前から準備を行ってきました。例年、ホルトホール大分などの大きな会場で行われてきましたが、今年は本校での開催となり、例年とは違うことなどが多く、予算管理、音響の方との打ち合わせ、吹奏楽部・軽音楽部の両部長と話し合いを何度も行い、体育祭、高専祭など様々な行事と並行して行ってきました。初めてのことで、今までしてきたことも出来ないなか、素晴らしい演奏をしてくれた吹奏楽部・軽音楽部、そして例年と違う設備で変わらない演出をしてくれた学生会役員にとっても感謝しています。

様々な行事が重なりスケジュール調整も大変でしたが、これまで音楽祭を運営してきた先輩方の意志を引き継ぎ、第51回音楽祭に実行委員長として関われたことを本当に幸せに思います。

そして来年も音楽祭が、今年同様、もしくはそれ以上に多くの方々に愛されるものになることを願っています。

最後に、ご協力くださいました多くの企業の皆様、先生方、本校吹奏楽部・軽音楽部及び文化展示して下さった各部に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。





# 学生会便り

## 新学生会長挨拶



会長

情報工学科  
4年 小野 圭以吾

栄えある大分高専の学生会長を務めさせていただくことになりました、情報工学科4年の小野圭以吾です。この学生会長という肩書に想像以上の重みを感じます。大分高専の顔になってしまった以上、気の利いたコメントが求められているのではないかと、模範となるような行動が出来ているのか、という不安に襲われます。歴代会長はこのプレッシャーと戦ってきたのかと思うと尊敬に値します。

これまで大分高専の学生、そして副会長として学校生活を過ごしてきました。大分高専の魅力はやはり学生の明るさにあると思います。各行事に真剣に取り組む姿勢や熱意などには惹かれるものがあります。そんな学生たちの熱意や期待を裏切らないためにも我々学生会が中心となって大分高専を支えなければなりません。大分高専には「体育祭」「高専祭」「音楽祭」やその他多くの行事が存在します。そういった行事の運営は簡単な仕事ではありません。ですが頼れる学生会役員や学生、教員の皆様と協力し、活気あふれる大分高専にしていきたいと考えております。最後になりましたが学生会長として皆様の期待に応えられるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 新副会長挨拶



副会長

機械工学科  
3年 森 光志郎

こんにちは、この度新しく学生会副会長になりました、機械工学科3年の森光志郎です。

私は、今まで様々な行事に参加し、その行事は学生会の方々の働きによって成り立っていると感じました。そしてその学生会の方々の働きに憧れを抱きました、その仕事に携わりたいと思い、副会長になりました。

私がこの高専で三年間過ごしてきて、大分高専の魅力は学生の皆さんの元気の良さだと感じました。そして学生の皆さんの元気を引き出すためには、学生会の運営をきちんとこなさなければなりません。

私は、三大祭りや、普段の生活の中で学生の皆さんの持ち前の元気の良さを十二分に発揮できるように、頑張ります!!

まだ、ぼくが副会長としていったい何ができるのか、何をしなければいけないのか分からず、不安もありますが精一杯務めさせていただきます。

学生の皆さん、私たちと一緒にこの大分高専を盛り上げていきましょう。



# 寮生会便り

## 旧寮生会長挨拶



情報工学科 5年  
平井 雅人

ふと気が付けば、秋もどこかへ去ってゆき、明野の地に足を踏み入れて5年の月日が経とうとしています。

この霜月は、これまでの5年を振り返ってはただただ滄沱の涙を流すばかりです。

4年前のあの日、志を共に入学した友垣。温かく迎え入れてくれた先生・先輩方。ありふれてはいましたが、どこか洗練された毎日。

これまでの日常の全てが、この私の小さな眼の裏で陽炎のように揺らめいております。

月並みな言葉ではありますが、この寮で過ごした日々は、本当に楽しかったです。

これだけ素晴らしい思い出が沢山あれば、もう充分でしょう。後は、現会長の和才君に後を託し、ただここを去るのみです。

明野寮の皆さん、この土地で過ごした時間を最高の物語にしてください。

そして、我々寮生は進む道こそ違えど、同じ月日と同じ地で過ごした同胞ということをお忘れずにいてください。共に、力強く生きて参りましょう。

最後に、薬師寺先生や佐藤係長をはじめとした寮関係者の皆様への感謝の意をここに記し、この長くも短い5年間の締め括りと致します。

5年間、本当にありがとうございました。

## 新寮生会長挨拶



機械工学科 4年  
和才 蓮

こんにちは！新しく寮生会長に就任しました和才です。これから1年間よろしくお祈りします。

突然ですが、みなさんはこんな言葉を聞いたことはありますか？

「Saying is one thing and doing is another.」

和訳：「言うことと、実際にやることとは別物である。」

これはフランスの哲学者、ミシェル・ド・モンテーニュの言葉です。つまり、僕たちでいえば寮内の問題をただ並べるだけではなく、実際に改善策を提案し、実行・解決をすることが大切であるということです。

これまで、寮生会ではたくさんの方が山積みになれ受け継がれてきました。銀杏の異臭、ポロチャリの放置、食堂の使用時間を守れない者達など様々な問題がありました。現在では寮生会役員、寮務主事室、食堂のおばちゃんとの協力のもと、いくつかの問題は残るものの明野寮の治安は守られています。みなさんはどうですか？『次のテストから頑張ろう』と、ただ口にするだけになっていませんか？次のテストに向けて寮での学習時間に集中して取り組んでいますか？皆さんには是非この言葉を寮生活に活かし、アクティブな寮生になって欲しいと思います。

最後になりますが、これまで寮生会を支えてくださった前寮生会長の平井さんをはじめとした旧役員の方皆さん、本当にお疲れ様でした。皆さんのように後輩から信頼される、人望が厚い先輩になれるよう精進していきます。

## 新副寮生会長挨拶



電気電子工学科 3年  
坂本 泰都

新しく副寮生会長になりました、3年電気電子工学科の坂本泰都です。

寮生会に入り、自分が寮生の皆さんを指導する立場となりました。皆さんの様々な意見や要望を聞き、それに応え、今のこの寮をよりよく、皆さんが「寮」＝「自分の家」だと思わせるようにするのが私自身の目標です。とまあ、こう言っておりますが私は指導できるほど寮での生活態度はあまりよくありません。まずは自分自身を見直し改め、副寮生会長としての自覚を持ち、模範となる行動を日々心がけようと思っています。

寮生活ではやはり家と比べますと規則が多く、不便と感じることはあると思います。ですが、寮は先輩や後輩などと一緒に生活するというめったにできない経験ができる場だと思っています。いい経験をしながら楽しい生活を送れる寮を寮生会長の和才さんをはじめとする先輩方のサポートをすることで作り上げていきたいと思っています。

まだ寮生会に入ったばかりでわからないことが多く、不安に思うこともありますが、一生懸命頑張りたいと思います。応援よろしくおねがいします。



# 留学生通信

## 「家族の大切さ」

機械工学科 3年  
ムハマド ハジフ ジュ

私は、大分高専の留学生で、マレーシアから来ました。ここに住んでいるのはまだ1年も立ってないけどいろんな経験ができるなんて本当に新鮮だと思います。特に一つのことが私に興味を持っているのは「家族」のことでした。私の目から見ると日本人の家族はいくつかのところでマレーシアと違うと思います。

その前に「家族」とはいったい何ですか？辞書を引いてみると、辞書には「両親とその子どもたちで、ひとまとまりとして一緒に暮らしている者たち」と書かれています。でも、「家族」とは、これだけのことでしょうか？私の経験からすれば、多分これだけでは足りません。なぜなら、その答えは一つとは限らないからです。私にとっての「家族」とは、それは「守りたい場所」を意味します。他の人にも、きっと一人一人の答えがあることでしょう。まだ「家族」とは何なのかがよく分からない人は、これから生きていく中でいろいろな体験をしていくうちに、自分だけの「答え」が見つかると思います。

また、マレーシアの家族環境は、日本の家族環境と異なっています。食事を例にとってみましょう。日本だったら、毎朝ほとんどの家族と一緒に朝食をとるのではないですか？でも、マレーシアでは、朝食自体をとらない家庭が結構多くあります。私の家庭でも、朝は、妹以外は、ほとんど誰も食べません。その理由は、みんな起きる時間がバラバラだからで

す。父は、誰よりも朝早く起きて、何も食べずに外出します。母は、起きるとすぐに妹の朝食を用意して家の掃除を始めます。兄は、仕事で帰りが遅いので、いつもお昼まで寝ています。私と姉は、寝る時間も起きる時間も不規則なので、食事をとったりとらなかったりです。このように私の家族の朝は、本当にバラバラでまとまりがありません。それでも、私の家族はみんな自分の家族の大切さを心から思っています。これはどこの国でも同じかもしれません。

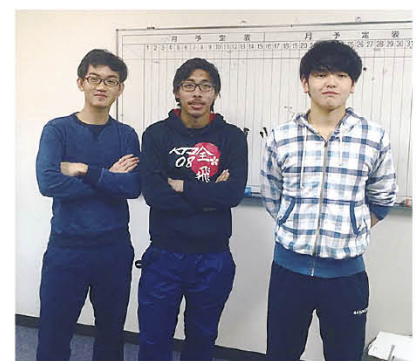
次はあなたに質問をあげます。あなたたちは小さい頃に親から大切に育てられたこと、かわいがられたことを覚えていますか？その時の記憶がまだ残っていますか？当然全部覚えているわけではありませんが、親から大事にされたことは、貴重な記憶として心の中にしっかりと残っているのが大事だと思います。そうすればきっと「家族の大切さ」を分かってくれまると思います。

「家族」に関して、もう一つ質問があります。あなたは小さい頃に家族と一緒に買い物に行きましたか？多分、ほとんどの人がそんな記憶があるでしょう。では、10代、20代とだんだんと大人になっていっても、以前と同じように家族と一緒に喜んで買い物に行きますか？「親と一緒に買い物に行くなんてダサイ！」とか「恥ずかしい！」とか「嫌だ！」とか思っている人はいませんか？「買い物をするお金だけくれたら、それだけでいい！」なんて思っている人はいませんか？私だったら、「家族と一緒に買い物ができるなんて、なんて素敵なことだ！なんて楽しいことだ！」と思います。私だけで

はありません。マレーシアでは、家族みんながそろって買い物をすることが一般的なのです。それは、裏を返せば、家族と一緒にそろって行動することがなかなかないからなのかもしれません。

さあ、ここで最後の質問をします。もしあなたの友だちがあなたを誘って一緒に遊びに行くことになっている時に、あなたの家族があなたを遊びに誘ったら、あなたはどちらを優先させますか？私なら、家族を優先させます。だからといって、私を誘った友だちは私を非難することはありません。なぜなら、彼も私と同じ立場だったら、同じように家族を優先させるからです。マレーシアの人は、それほど家族を大事にするのです。

家族があるって、家庭があるって、とても素敵なことです。家族の大切さをわからないと本当に残念だと思います。なぜなら、人間は、誰も一人で生きているわけではありません。「人」という漢字が表しているように、人間はお互いが支え合って生きているのです。その代表格が、家族なのです。これからも、あなたの人生において欠かせない「家族」を大事にしていきましょう！



(中央がハジフ君)



平成29年度 学科別進路状況

平成30年2月1日現在

Table with 5 columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (機械, 電気, 情報, 都市), 計. Rows 1-35.

Table with 5 columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (機械, 電気, 情報, 都市), 計. Rows 36-70.

Table with 5 columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (機械, 電気, 情報, 都市), 計. Rows 71-100, including sub-totals for graduates and students.

※機械は「機械工学科」、電気は「電気電子工学科」、情報は「情報工学科」、都市は「都市・環境工学科」

平成29年度 専攻科進路状況

平成30年2月1日現在

第14期:平成29年度(2017年) 修了予定者(30人) 佐野専攻科長

Table with 2 columns: 機械・環境システム工学専攻(15人), 電気電子情報工学専攻(15人). Lists specific departments and companies.